

エコオフィスの取り組みで 1793万円削減しました

平成24年度の市役所のエコオフィス取組状況を報告します。

温暖化防止への取り組み

市では、平成16年度からISO14001環境マネジメントシステムを構築して、環境負荷の削減に取り組んでいます。

継続的に実施しています。また、紙ごみの再資源化を図るため、職員が回収作業を行っています。

使用量、削減結果

システムの実施範囲は、本庁舎、別館、消防署、保育所などすべての施設における市の施策や事業です。また、取組状況について毎年内部環境監査を実施しています。

平成24年度のエコオフィス取組による目標値について、電気は平成13、14、15年度の平均値と比較して3パーセントの削減、水は平成15年度の使用量と比較して5パーセントの削減、ごみ排出量は平成15年度と比較して20パーセントの削減しました。

二酸化炭素排出削減への取り組み

平成24年度の二酸化炭素の排出量(単位はkg-CO₂)は、それぞれのエネルギー使用量などに排出係数を乗じて計算します。

エコオフィスの取り組みにより、平成15年度と比較して、二酸化炭素換算で、32万9301キログラム削減できました(表2)。

創意工夫の取り組み

その他の環境マネジメントシステムの取り組みとして、各部署で環境への負荷が少ない製品の調達、公共工事における環境配慮、水道部や保育所などでゴーヤなどの栽培による緑のカーテン、保育所などで児童にごみの分別の啓発、エコドライブ、マイ箸の持参、メモ用紙の再資源化などに努めています。また、今年の夏

も軽装による節電対策に取り組んでいます。

普段の生活を 見直してみませんか

私たちは、毎日生活するうえで、たくさんのエネルギーや資源を消費しています。その結果、二酸化炭素を排出し、地球温暖化防止に取

出され、異常気象や地球温暖化を引き起こす原因と考えられています。

節電・節水や物資の再利用などによる省エネルギー・省資源は、温暖化防止だけではなく経費の削減にも通じます。皆さんもライフスタイルを見直し、地球温暖化防止に取り組みましょう。

問 環境リサイクル課 ☎338

表1 削減取り組み結果と削減額

項目	平成24年度		目標の基準となる使用(排出)量※1	削減量	削減率(%)	単価※2(円)	削減額(円)
	目標	使用(排出)量					
電気使用量(kwh)	平成13、14、15年度の平均値と比較して3%削減	2,735,677	3,397,826	662,149	19.5	25	16,553,725
水使用量(m)	平成15年度と比較して5%削減	32,633	34,783	2,150	6.2	270	580,500
ごみ排出量(kg)	平成15年度と比較して20%削減	46,181	71,080	24,899	35.0	32	796,768
合計削減額(円)							17,930,993

※1 目標の基準となる使用(排出)量について、電気使用量は平成13、14、15年度の平均値とし、そのうち消防署の数値は新設された消防庁舎の平成22年度分を使用しています。
※2 単価は、平成16年度取り組み結果で使用した単価

表2 二酸化炭素排出削減量

項目	排出係数	平成24年度排出量(kg-CO ₂)	目標の基準となる排出量(kg-CO ₂)	削減量(kg-CO ₂)
電気	0.395	1,080,592	1,342,141	261,549
水	0.36	11,748	12,522	774
ごみ	2.69	124,227	191,205	66,978
合計	-	1,216,567	1,545,868	329,301

※紙使用から発生する二酸化炭素は、製紙会社の製造工程で算定されているため、市のマネジメントシステムの中には含まれていません。
※電気の排出係数は、東京電力株の排出係数です。
※二酸化炭素削減量の約329トン、ぶな林57ヘクタール(八潮中央公園約50個分)が1年間に吸収する二酸化炭素量に相当します。



紙ごみを分別し再資源化



テレビの使用を控えた節電対策